

特別寄稿

オープンデータによるビジネス創出
の現状と方向性

～ビジネス創出の8パターン～

株式会社公共イノベーション 代表取締役 川島宏一

[前編]

川島宏一（かわしまひろいち）

1959年、茨城県土浦市生まれ。社会工学博士。国土交通省、インドネシア住宅省、北九州市、世界銀行を経て2006年から2011年まで佐賀県CIOを務め、現在は特別顧問。IT総合戦略本部・新戦略推進専門調査会電子行政分科会構成員。2012年に株式会社公共イノベーションを起業するとともに、複数の立場から、社会課題の解決に取り組む。

オープンデータという社会経済のうねりの始まり

2007年7月、知識のオープン化を進めるグローバルネットワーク組織オープン・ナレッジのルーフ・ポラックが、「生データを今すぐに出して欲しい!」と、ときを上げた。2009年9月、ワールド・ワイド・ウェブの発明者であるティム・バーナーズ・リーも「生データをすぐに出せ!」と世界中に訴えた。日本においても2011年3月の東日本大震災以降、公共機関が保有しているデータを生で早く出すことへの要請が高まった。私も2011年10月以降、いろいろなメディアで、公共データを原則オープン（Open by Default）にしていく世界の動きとその日本における必要性を訴えてきた。

こうした世界的な動きに呼応して、日本政府のIT総合戦略本部は、2012年7月「電子行政オープンデータ戦略」を決定。それ以降、矢継ぎ早に、オープンデータ政策を打ち出してきた。2013年5月「電子行政オープンデータ推進のためのロードマップ」決定、同年6月「二次利用促進のための府省のデータ公開に関する基本的考え方」決定、同年10月「オープンデータ憲章アクションプラン」決定、同年12月「政府データカタログサイト試行版」公開、2014年6月「政府標準利用規約（第1.0版）」決定、同年10月「政府データカタログサイト本格版」運用開始。そして、現在では、自治体においても、データカタログサイトの公開、アイディアソン・ハッカソン、アプリケーション・コンテストなどが毎週のように開催されている状況だ。

本稿の前編では、まず、公共データが二次利用可能かつ機械判読可能な状態で、大量かつ迅速に流通できる状態へ移行しつつある中で、国内及び世界では、どのような価値創出パターンが生まれているかをご紹介します。

オープンデータによる価値創出の8パターン

私は、公共データのオープン化によって生まれている情報サービスを、価値の創出という視点から以下の8類型（図）に分けている。

①わかりやすい可視化型

「WHERE DOES MY MONEY GO?（名古屋市版）」は、名古屋市に住む納税者一人ひとりが、それぞれの収入に応じて、市役所に年間いくらか税金を支払っていて、税金は一日あたりで何円、何のために使われているか、わかりやすく見ることができるサイトだ。たとえば、年収400万円の単身世帯の場合、標準的には、名古屋市に年間209,190円の税金を支払っている。これを、一日換算でいうと、健康福祉に160.81円、公債に78.37円、子ども青少年に72.72円などを支払っていることがわかる。

「WHERE DOES MY MONEY GO?」は、英国の非営利組織Open Knowledgeがオープンソースとして開発し、2015年1月現在、日本では、200を超える自治体の予算データを用いたサイトが立ち上がっている。

URL : <http://nagoya.spending.jp/>

②対話型

「英国ロンドン大都市圏レッドブリッジ特別区のYouChoose」は、レッドブリッジ特別区に住む納税者一人ひとりが、翌年の特別区の税金の使われ方について、分野ごとの予算の増減、収入不足が起こる場合にはどう

やって不足を補うかを、自分で予算編成でき、予算削減も提案できるサイトだ。たとえば、社会福祉、教育の文化・スポーツ・レジャー分野は増額する一方で、議会費は減額するといった編成を、各分野のブロック上のスライドを左右に動かすことで簡単にできる。納税者一人ひとりが具体的に参加することのできなかった予算編成過程に参加でき、納税者にとってより納得感のある予算編成過程を実現している。

URL : <http://youchoose.yougov.com/redbridge>

③リアルタイム型

「ロンドン大都市圏の地下鉄運行状況マップ」は、ロンドンの地下鉄車両の位置を擬似的にリアルタイムに表示するサイトだ。これによって、地下鉄利用者が駅での待ち時間を短縮することが可能となっている。

URL : <http://traintimes.org.uk/map/tube/>

④比較型

「Urban Observatory」は、複数の都市を一定の視点で図面表示し、横比較することを可能とするサイトで、GIS企業Esriが運営している。誰でも自分の知っている都市のデータを登録することが可能で、たとえば都市計画の担当者は、このサイトで、東京、ロンドン、ニューヨークなどの住宅市街地の広がり进行比较することができる。どんな違いがあるか、その違いのポジティブな面とネガティブな面は何なのかといった分析をエビデンスに基づいた視覚情報で行うことが可能となる。

URL : <http://www.urbanobservatory.org/compare/>

⑤ハイブリッド型

「The Climate Corporation」は、米国の農業法人向けの農業保険会社だ。この会社は、精度の高い土壌の性質、気象および種子・苗の作柄に関する過去データを取集・分析することによって、特定の農業法人が有するその農地での、その年度のその作物の作高を予想し、精度の高い保険商品を提供している。

URL : <http://www.climate.com/>

⑥地域パッケージング型

「Data GM」は、英国のマンチェスター大都市圏全域の地方公共団体、公益事業者の有するデータのワン・ス

情報サービスの8類型

- | | |
|-------------|-------------|
| ①わかりやすい可視化型 | ⑤ハイブリッド型 |
| ②対話型 | ⑥地域パッケージング型 |
| ③リアルタイム型 | ⑦仲介型 |
| ④比較型 | ⑧コンシエルジュ型 |

公共データのオープン化を活用することで、さまざまな価値が創出されている。

トップ・サイトだ。たとえば、これまでであれば、ある地方公共団体が道路工事を行う際には、その影響が及ぶ周辺の地方公共団体の道路管理者に電話やメール等で連絡しなければならなかったが、このサイトによって、コミュニケーションコストが低減され、年間約200万ポンドの節約効果があったと報告されている。

URL : <http://www.datagm.org.uk/>

⑦仲介型

「placr」は、英国のデータ仲介会社のサイトだ。主に、鉄道、バス等交通事業者の時刻表・運行情報等を整理して、複数の交通機関の利用者にアプリケーション・サービスを提供している会社に、整理された基データを提供している。異なる交通事業者間の相互接続情報についての精度の高い更新データ等を提供することによって、利用者の利便性を高めている。

URL : <http://www.placr.co.uk/>

⑧コンシエルジュ型

「横浜市金沢区 かなざわ育ナビ.net」は、金沢区民が、その居住地及び子供の年齢に応じた子育てサービス情報を適時、的確に入手できるサービスだ。忙しい共働きの子育て世帯にとって、いつ、どこで健診を受けられるのか、予防接種を受けられるのかといった情報は大変重要だ。最初に、サイトに住所の郵便番号と子供の生年月日を登録すると、それ以降、その郵便番号地区に住んでいる、その年齢の子供に役立つ情報に絞られて表示される。

URL : <http://kirakana.city.yokohama.lg.jp/>